



生田斗真

門脇麦 磯村勇斗

山崎七海 柚穂／宮藤官九郎／宮世琉弥 吉澤健 池田成志

篠原篤 柴田理恵 森下能幸 田中要次 大鶴義丹

尾野真千子

原作:河林満「渴水」(角川文庫刊)

監督:高橋正弥 脚本:及川章太郎 音楽:向井秀徳

企画プロデュース:白石和彌

主題歌:向井秀徳「渴水」

製作:塩内大介 鹿島ンリーノ、鈴木仁行、五十嵐愛之、企画:横井和

プロデューサー:長谷川晴彦 田坂公基 ラインプロデューサー:原田耕治

撮影:狩田朝太郎 照明:中嶋岳士 小池智詩 美術:中澤洋美 着音:石見良史 スタイリスト:清瀬英香 ヘアメイク:酒井名介(生田斗真) 渡辺順子

音響:田中江一郎 録音:鈴木利樹 カット:高橋尚貴 音楽:篠原篤 副監督:山下久義 制作担当:土田守介 企画監修:佐久田博志

製作:「渴水」協会 映画プロダクション・レシス・スカイ・エフエム・サウス・シネマ・ラバブ・フィルム・ズ 株式会社 KADOKAWA

©「渴水」製作委員会 2023 日本 カラー ヨーロピアン・ピクチャー 100分 15禁

渴いた世界に、希望の雨は降るのかー。

渴水

かっすい

主演 生田斗真 ×

企画
プロデュース

白石和彌

『凶悪』『孤狼の血』『ひとよ』

× 監督 高橋正弥

6.2 fri



孤独を抱えた水道局員と、
たった二人取り残された幼い姉妹。
給水制限の夏、一件の【停水執行】が
波乱に満ちた人間模様を紡ぎだし
現代社会に真の絆を問う
珠玉のヒューマンドラマ

1990年、第70回文學界新人賞受賞、第103回芥川賞候補作となり注目を浴びた河林満による幻の名篇「渴水」が、刊行から30年の時を経て初の映画化。料金滞納家庭の水道を停めて回る水道局員と、たった二人で家に残された幼い姉妹。一件の停水執行をきっかけに巻き起こる心の物語を描く。企画プロデュースを手掛けたのは数々の重厚なドラマを生み出し映画界にその名を轟かす白石和彌。主人公の岩切を多彩な演技で人を魅了する生田斗真が熱演し、門脇麦、磯村勇斗、尾野真千子をはじめ実力派俳優陣が顔を揃えた。音楽をカリスマ的な人気を誇る向井秀徳が手掛け、監督：高橋正弥×脚本：及川章太郎のタッグが、生の哀しみを描いた原作小説を、絆が紡ぐ一筋の希望を描いた感動作へと昇華させた。

普遍的な生の哀しみを描いた芥川賞候補作が、30年の時を経て待望の映画化



story 日照り続きの夏、市の水道局に勤める岩切俊作（生田斗真）は、来る日も来る日も水道料金が滞納する家庭を訪ね、水道を停めて回っていた。県内全域で給水制限が発令される中、岩切は二人きりで家に取り残された幼い姉妹と出会う。蒸発した父、帰らなくなった母親。困窮家庭にとって最後のライフラインである“水”を停めるのか否か。葛藤を抱えながらも岩切は規則に従い停水を執り行うが——。



<https://movies.kadokawa.co.jp/kassui/>
@kassui_movie

©「渴水」製作委員会 2023／日本／カラー／ヨーロピアンピスタ／100分 配給：KADOKAWA

6.2 FRI ROADSHOW